

活動の継続の大切さ

「とよひら・りんく」は平成23年度に設立した札幌市豊平区西岡・福住地区の在宅医療、介護従事者等の多職種協議会です。

活動をより幅広く、深く知っていただくために、不定期ですが、事務局コラムを配信することにいたしました。

令和2年度の今年度で10年目になります。

常に活動をする中で気を付けていたことは、まずはこの地域の連携課題を協議、解決に向けて検討する場として、医療・介護従事者等の年4回の合同会議の継続と活動の公開(NewsLetterの発行→7/6発行分で第50号となりました)です。ゆっくりでも歩き続けるということが一番大切なのではと思っています。

この取り組みの継続により、看取り介護の拡充やアドバンス・ケア・プランニング(ACP)の推進、ICT(Information and Communication Technology(情報通信技術))の導入などいくつかの課題への対策を実施する中で、地域住民の生活のために、少しずつ解決や良い方向に向かっているな、と感じられるようになりました。

「前はこういうことで…」 「…をすることで、少し良くなった」 「そうしたら、次にこういう課題がみえてきた」という地道な取り組みの継続が、この地域に馴染んだ「地域包括ケアシステム」になっていくのだと、日々感じています。

この10年で札幌市豊平区西岡地区は、人口は微増、高齢化率は25.6%(平成23年)から32.4%(令和2年)となりました。地域の景色や雰囲気は少しずつかわってきていますが、住みやすい街づくりの一助となる活動をこれからも継続していきたいと思っています。

